

県女第一期生より、皆実高校生に至る

122年の歴史に連なる者。

また今後、この同じ流れに連なる者、

手をつなぎ足音高く歩もう。

足音高く声を揃えて元気に歩もう。

我等は、皆実有朋会会員（38,995人）である。

歩もう、歩もう力強く！



No. 86 2023 (令和5) .12. 10

## 待ちに待った4年ぶりの総会



の総会の実績の2倍近いカンパが集まり、会員の皆様の母校愛に胸が熱くなりました。10月7日に大勢の次期当番期を迎え定期総会引継ぎ会が開催されて、来年の総会準備がスタートしました。社会ではコロナ禍以前のようにならぬ活動が行われるようになって、母校の学校生活も熱気を取り戻して、同窓会活動もこれに負けないよう頑張っていく所存です。会員の皆様には、どうかご健康に留意され、同窓会と、同窓会が設立支援した奨学財団に、今後も力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年8月に開催された「第70回皆実有朋会定期総会」プログラムにも寄稿させていただきましたと、異なる特徴・特性をもった一人一人が共感し合いながら生き生きと共存できる学校「チーム皆実」を現実のものにしたいという強い思いもっています。どうか広島皆実高校の伝統・文化を築いてこられた同窓生の皆様にも「チーム皆実」の大切な一員として、御支援・御協力いただきますようお願いいたします。学校に超越の際には、是非、校長室にお立ち寄りください。

また、「総会の中止が続き、皆実生を全国に送る会の会計がピンチなので、カンパにご協力を！」とのお願いに添えて、過去の吉村校長をはじめ母校の教職員の皆様や、東京皆実有朋会の岡村会長様、近畿皆実有朋会の中内副会長様、恩師の先生方などのご来賓をお迎えして、約470人が集い、コロナ以前の総会のように楽しいひと時を過ごすことができました。

さて、令和5年度の上半年期が終了したわけですが、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行することから、「Withコロナ」への意識が社会に浸透し始めたことから、学校生活や教育活動はほぼ平常化されました。校内行事としての「皆実祭」、「大運動会」をはじめ対外的に活躍する部活動等の全国大会、企業や大学の協力を得た「探究学習・News」の取組、さらには個々が主体的に関わる国内外での活動や研修など多種多様な場面において、生徒たちはそれぞれの感性を生かしながら力を発揮してきています。

4年ぶりの定期総会開催に思う

皆実有朋会会長 城 一博 (皆実24期)



会員の皆様お待ち望んでおられた、第70回皆実有朋会定期総会を、8月19日に4年ぶりで開催することができました。中止のプランクによる様々な困難を乗り越えて準備運営にあたってくださった当期の皆さんをはじめ、プログラムに広告を掲載してくださった会員の皆様や多くの関係者の皆様のご尽力に、改めて心からお礼を申し上げます。

新任校長の挨拶

広島皆実高校「Diversity(多様性)」からなる理想の「TEAM」  
広島県立広島皆実高等学校第26代校長 吉村 薫



広島皆実高校に赴任してから約半年が経ちました。これまで経験したことのない酷暑からやっと秋の気配を感じ始めた今、生徒たちは教室の窓枠やグラウンドに現れるトンボに目を細めながら、読書や勉学に励んでいます。また、部活動や課外活動も新しいフェーズを迎え、秋冬の全国大会に向けて、文化部・運動部とも土日返上で練習や遠征、試合にと生徒・教職員共々忙しく過ごしています。私自身も沢山の人々との出会いや新しい学校経営への挑戦、そして何よりも生徒たちから伝わってくる可能性を肌で感じ、慌ただしくも充実した毎日を送っています。